

◇適性検査問題(例)の解答例

○適性検査 I

1

【問題 1】 (10点)

(北海道と東京都を比べた例)

○東京都の特色

北海道はちく産のわりあいがおよそ半数であるが、東京都はわずか7.6%である。逆に野菜は、北海道は16.3%だが、東京都は半数をこえるわりあいとなっている。

○理由

野菜は新せんさが大切なので、人口の多い都市の近くでたくさん作っているため。

【問題 2】 (10点)

○育てる時期

春(3~5月)と秋(10~11月)の2回。

○理由

気温のグラフから、ホウレン草を育てるのに適した気温の時期であると読み取れるため。

【問題 3】 (10点)

○生産者の立場

できるだけ農薬を使わずに新せんて安全な野菜をつくること。ゴミや動物が畑に入らないようにさくを設けたり、土が風によってまい上がらないようにすることなど。

○地域住民の立場

畑にゴミ等のぼい捨てをしないこと。畑に立ち入らないことなど。

2

【問題 1】 (15点)

○開く時間

合計20分間

○走らせ方

上り方向の電車15本のうち10本を、下り方向の電車と同時にふみきりを通過するように走る時間の間かくを変える。

【問題 2】 (15点)

①ふみきりを利用していた住民の立場

ふみきりを待たなくてすむなど。

②駅近くの商店の立場

人の行ききが増え、お客さんが増えるなど。

③鉄道会社の立場

交通事故のき険がなくなるなど。

3

【問題 1】 (10点)

東京あたりの雲の様子を見ると、6月は雲が多くかかっているけど、8月は雲がない。6月のし外線が8月よりも弱いのは、この雲でし外線がさえぎられているためである。

【問題 2】 (10点)

6月でもし外線が「非常に強い日」が10日近くあり、また体内に必要なビタミンDをつくるためにはし外線を15分あびるだけで十分で、それ以上あびるとかえって皮ふや目をいためるおそれがあるから、晴れた日にはし外線対さくが必要である。

4

【問題】 (20点)

(表を作って答えを出す方法)

ハンバーガーとチーズバーガー合わせて15個の買い方について、組み合わせの表を作り、問題に合う答えを見つける。

ハン	個数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
バーガー	金額	120	240	360	480	600	720	840	960	1080	1200	1320	1440	1560	1680
チーズ	個数	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
バーガー	金額	2100	1950	1800	1650	1500	1350	1200	1050	900	750	600	450	300	150
合計の金額		2220	2190	2160	2130	2100	2070	2040	2010	1980	1950	1920	1890	1860	1830

↑ ↑
正しい買い方の組み合わせ まちがえて買った組み合わせ

答え ハンバーガー 5個、 チーズバーガー 10個

○適性検査Ⅱ

1

【問題 1】 (20点)

道に迷った不安がなくなり、びくびくまわりを見る必要がなくなったことと、初めて同級生ときちんと話せたことで転校生としてもっていた不安もなくなり、心の中につかえていたものが取れ、ひと安心した気持ち。 (97字)

【問題 2】 (30点)

五年生の三学期、私は高熱が出て一週間学校を休みました。五日目くらいになると熱も下がり、学校の授業や次の週から始まる演げき発表会の練習などが気になり始めました。そんな時、友だち二人が見まいにきてくれました。直接は会えなかったのですが、授業のノートと発表会の台本と「早くよくなっていっしょに練習しよう」という手紙を読んで、とてもうれしく感じました。私も逆の立場になったら同じようにしようと思いました。 (199字)

2

【問題】 (50点)

先日、かまくら時代に書かれた文章を現代の言葉に訳した本を読みました。人と人とのつき合い方や自然に対する考え方など、今の私たちが読んでもなっとくができ、とてもためになる内容でした。科学は進歩しても人間の考え方に大きな変化はないのだとわかり、きちんとした考え方を身につけるためにしっかりと勉強しようと思われました。

また、読書には集中力が必要で、テレビや音楽を見聞きしながらでは、内容が分からなくなったり、せつかく読んでも後に何も頭に残らず、時間がもったいないと後かいしたりしたことがありました。その後は、読書する時だけでなく何をする時でも後かいしないように集中して取り組むようになりました。 (299字)